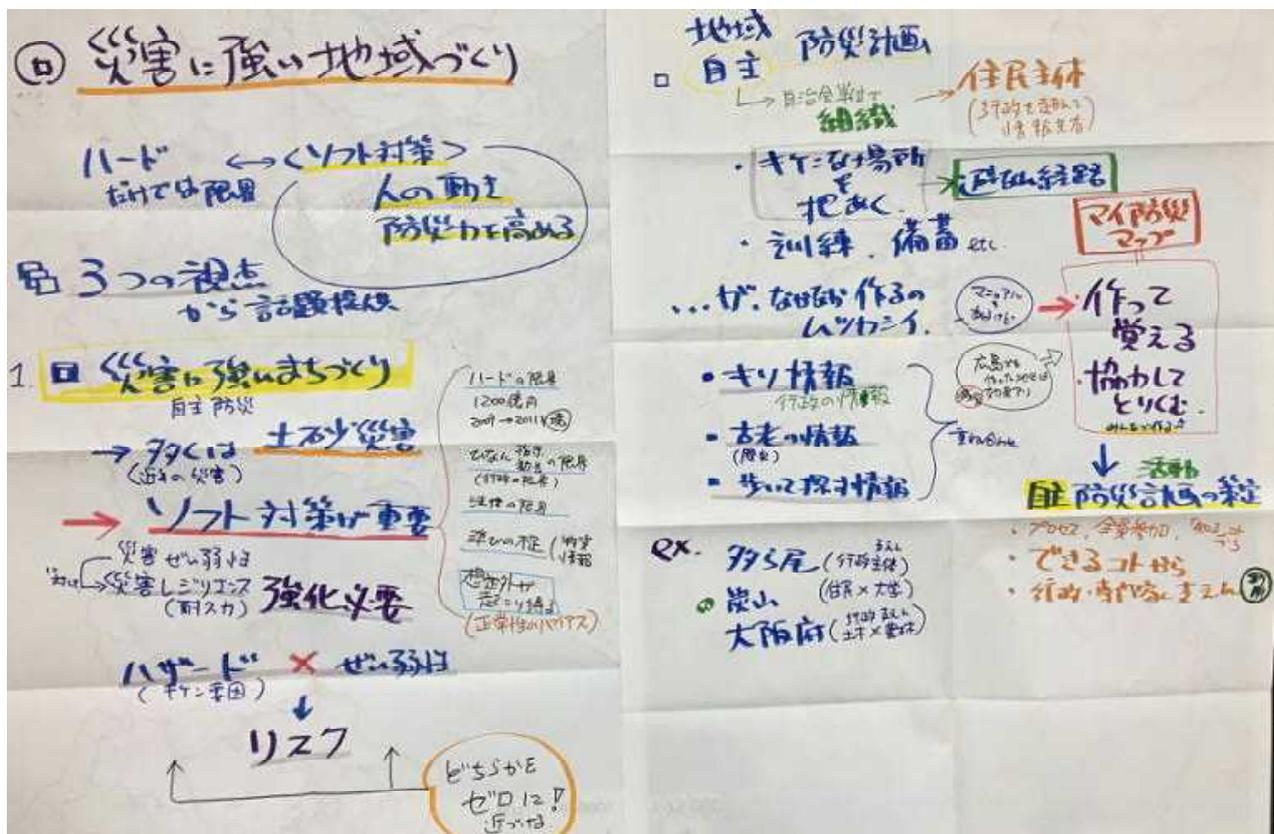


# 滋賀県治山、里山防災研修会「山の災害に備えて私達ができること」

◎日時：平成29年3月1日（水） 午後1時30分～4時30分  
 ◎場所：滋賀県立文化産業交流会館 第1会議室  
 「山の災害に備えて私達ができること」をテーマに地域住民や行政関係者が参加した研修会は、まず県森林保全課職員から山地災害危険地区の説明があり、防災力を高めるためにも地域で管理することが重要性が報告された。次に近畿中国森林管理局職員から平成26年8月に起こった広島をはじめ、近年多発する大雨による山地災害状況が報告され、治山堰堤などのハード整備と併せて里山整備、危険木処理や防災マップなどの日頃の取組が大事であるとの指摘があった。  
 その後、京都府立大学の三好岩生先生から「災害に強い地域づくりについて」と題して、以下の話題提供があり、地域防災に向けて県、市町、地域住民などの役割を見直す良い機会となった。

## 1. 災害に強いまちづくり ～自主防災活動の進め方と要点～

- ◇ 最近の自然災害の特徴と、そこから得られる教訓
- ◇ 自主防災活動とは
- ◇ マイ防災マップのつくり方
- ◇ 自主防災活動の要点と行政の支援



## 2. 「災害文化」と「里山ライフスタイル」 ～暮らしの中の防災へ～

- ◇ 日本各地の災害文化 ⇒ 暮らしの中に根付く防災の文化
- ◇ 里山ライフスタイル・・・ 地域資源を最大に利活用した暮らし ⇒ 周囲の山や川の状況を知る！
- ◇ 自然の脅威と恵みをうまく使い分ける暮らし ⇒ 周囲の自然の変化に敏感になる ⇒ 災害耐久性の高い（災害に強い）暮らし

## 3. 災害に強い森づくり

- ◇ 最近の森林災害の特徴
- ◇ 京都、嵐山国有林に見る山林の荒廃と対策
  - 植生の変化 → 光条件の変化
  - シカによる食害の増加
- ◇ 森のモニタリング 市民参加による情報共有
- ◇ 嵐山、炭山地区に見る「森を知る」ための活動